

Club BUSINESS FARMERS

『農業経営者』読者の会 会報

CONTENTS

第1回全国大会プログラム

大会概要／日程・会場・参加料・申込方法
スケジュール／アクセスマップ

2～3月の活動・参加申込書

Vol.6 2008年2月1日発行

■発行・編集／(株)農業技術通信社『農業経営者』読者の会 事務局 (担当：長谷川)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-18-25 康洋ビル9F TEL 03-3360-2697 FAX 03-3360-2698

第1回全国大会プログラム

イノベーションが農場を変える

6人の成功者から学ぶ

発想転換のヒント

08年2月15～16日、全国の農業経営者が集まる第1回全国大会。テーマは前回ご案内したテーマをより具体化「イノベーションが農場を変える」6人の成功者から学ぶ発想転換のヒント」に改めた。基調講演は経営史研究の第一人者、一橋大学イノベーション研究所教授の米倉誠一郎氏。総合司会はテレビ朝日「サンデープロジェクト」に出演中、気鋭のジャーナリスト・財部誠一氏が進行する。

経営課題にあわせて 分科会を選ぶ

分科会では、農業界でイノベーションを実践してきた6人の成功者をゲストに招く。参加者は6つのテーマ(次ページ「大会概要」参照)から関心のあるものを選び、分科会に参加する。ゲスト6人が実践したイノベーションの軌跡、分科会での議論ポイントについては、『農業経営者』08年3月号の特集を参照。自分の経営課題にあわせたテーマを分科会①②から一つずつ選び、自分の農場の問題解決にヒントを探す機会にして欲しい。パネルディスカッションでは、参加しなかった分科会の内容をチェックできる。

現地視察は、 和郷園と柏みらい農場

現地視察は当初2コースに分かれる予定だったが、1コースのみに変更。視察先は、千葉県香取郡の和郷園と、千葉県柏市の柏みらい農場に決定。驚異的に成長する和郷園について、その組織作りを初日にゲストの木内代表と語り、2日目に現場を訪問するという趣向だ。次の柏みらい農場は、都市近郊で自ら営農的基盤整備を行い、

120haの土地利用型農業を行っている。その経営を支えているのが、乾田直播と加工ジャガイモを中心とした大規模畑作技術だ。レーザーレベラーなどの実演と解説を通して、農場経営のイノベーションにおける技術の役割を考えたい。



柏みらい農場で120haの農場経営を支える乾田直播と大規模畑作技術の実演会に参加。



近隣90戸以上の農家をまとめ、生産から加工までを手がける和郷園で組織作りを考える。

■大会概要

基調講演

米倉誠一郎氏(一橋大学イノベーション研究所教授)



日本における経営史の第一人者が、イノベーションを中心とした戦略と組織の観点から、産業化の曙を迎えた日本農業界のビジネスチャンス語る。

総合司会

財部誠一氏(経済ジャーナリスト)



テレビ朝日「サンデープロジェクト」でお馴染み、気鋭のジャーナリストが大会を進行！PHP研究所「Voice」08年2月号で「農業が輸出産業になる日」を掲載。

分科会①

『腹ではなく心を満たす農業ビジネス』



白石好孝氏(大泉 風のがっこう/東京都練馬区)

[本誌07年11月号・編集長インタビュー登場]

消費者は今、農業に感動や癒しを求めている。消費者のニーズを汲んだ、新しいビジネスとして体験農園を進化させた同氏が、多様化する農業のありかたを提案する。

分科会②

『成功する！ネット産直ビジネス』



松浦進氏(あさくみ農産/島根県松江市)

[本誌08年1月号・特集登場]

コメが売れないと嘆く前に、お客様が求める味を作っているだろうか？コメ25haを100%自己販売、うち9割を楽天で売る同氏とブランド戦略を考える。

2/15
(金)

『水稻生産における技術革新と経営展開』



佐藤彰一氏(南米シスト庄内/山形県東田川郡)

[本誌04年4月号・農業経営者ルポ登場]

日本有数の産地でコメ93haを経営し、売上高2億3000万円をあげる同社。次の経営革新の鍵は乾田直播、と考える同氏と大規模経営の戦略と勝算を語る。

『マーケット本位の生産者組織作り』



木内博一氏((農)和郷園/千葉県香取市)

[本誌07年4月号・「高橋がなり×木内博一」ほか登場]

90戸以上の農家をとりまとめ、生産・加工・流通・販売を手がける同園。設立10年で売上高15億円に成長した農業法人の代表と、組織作りを語る。

『農業も外部から経営者の招聘を』



鈴木誠氏(株)ナチュラルアート)

[本誌07年12月号特集登場]

元金融マンとして経営者の交代を数多く見聞・経験してきた同氏。農業経営においても優秀な経営者を外部から迎え入れることの可能性と、その意義を提案する。

『Made in Japan からMade by Japaneseへ』



木村慎一氏(南サンアップル醸造ジャパン)

[本誌03年10月号・農業経営者ルポ登場]

黄金崎農場から独立した同氏は今、ウクライナで大豆を栽培し、日本に輸出する準備を進めている。農場の海外進出を、本誌編集長・昆吉則と共に語る。

※分科会①②は、それぞれご関心のあるテーマを選んでご参加頂きます。

現地視察①

農事組合法人 和郷園 (千葉県香取市)

驚異的な成長を続ける和郷園。ゲストの木内代表と組織作りを語り、自分の目で現場を視察する。

■本部内視察：受発注システム、圃場管理システム、冷蔵管理システム、農薬管理システム、残留農薬分析システム、IT通販システム、分荷・配送システム

■リサイクルセンター：牛糞堆肥発酵施設、野菜別発酵肥料製造施設、野菜カット残渣飼料化施設、生活活性水製造製造施設

■冷凍野菜工場：冷凍加工システム(ほうれんそう、小松菜、大和芋)、衛生管理システム

■生産農家：(有)さかき(サンチュ)

■風土村レストラン

現地視察②

農業生産法人 柏みらい農場 (千葉県柏市)

都市近郊で自ら営農的基盤整備を行ない、120haの土地利用型農業を行っている柏みらい農場。その経営を支えているのが、乾田直播と加工ジャガイモを中心とした大規模畑作技術だ。レーザーレベラーなどの実演と解説を通して、農場経営のイノベーションにおける技術の役割を考えたい。

■プラウ作業

■レーザーレベラー作業

■ジャガイモプラント作業

2/16
(土)

■スケジュール

	時間	場所	プログラム
2/15 (金) 幕張セミナーハウス	9:00	1Fロビー	来場者受付開始
	10:00	3Fホール	基調講演
	11:00	休憩	
	11:15	3Fホール	分科会紹介
	12:00	1Fレストラン	昼食
	13:00	参加者各ブースに入場	
	13:15	3Fホール	分科会①
		3F中会議室4	
		3F中会議室5	
	14:15	休憩/参加者移動	
	14:30	3Fホール	分科会②
		3F中会議室4	
		3F中会議室5	
	15:30	休憩	
	15:45	3Fホール	パネルディスカッション
	16:30	休憩	
	16:45	3Fホール	パネルディスカッション
	17:30	終了/懇親会会場へ移動	
	18:00	1Fレストラン	懇親会
	20:00	大会初日終了	
20:15	宿泊者チェックイン		
2/16 (土) 現地視察 (貸切バスで移動)	7:45	1Fロビー	集合
	8:00	幕張セミナーハウス出発	
	9:00	和郷園到着	
	9:15	和郷本部	本部内視察
	10:10	リサイクルセンターへ移動	
	10:20	リサイクルセンターBMプラント	施設視察
	10:45	風土村に移動	
	11:00	風土村レストラン	昼食
	11:30	冷凍野菜工場に移動	
	12:00	冷凍野菜工場	工場視察
	12:30	(有)さかき(生産農家)に移動	
	12:40	(有)さかき	生産農家視察
	13:00	柏みらい農場に移動	
	14:30	柏みらい農場	実演会
	15:30	かしわでに移動	
	15:45	かしわで	直売所視察
	16:15	視察終了/東京駅に移動	
17:00	東京駅到着/参加者東京駅にて解散		

■日程・会場・参加料・お申込

日程

2008年 2月15日(金)・16日(土)

1泊2日

会場

2月15日(金)：幕張セミナーハウス

2月16日(土)：現地視察(和郷園・柏みらい農場)

参加料

2日間：定期購読者50,000円

(一般80,000円)

初日のみ：定期購読者30,000円

(一般50,000円)

※参加料には、受講料、テキスト代、懇親会費、宿泊代、バス代込、昼食2回、朝食1回を含みます。

お申込・お問い合わせ

TEL：0120-555-184

FAX：0120-410-359

(この会報の申込書をご利用ください)

HP：<http://www.farm-biz.co.jp/meeting/form/>

※お申込み完了後、下記の振込先に参加料を入金してください。振込確認後、受講証を発行いたします。

●参加料振込先

みずほ銀行高田馬場支店

口座番号：5507077

預金種目：普通預金

受取人：株式会社農業技術通信社(「カブシキカイシャノウギョウギジュツツウシンシャ」)

住所：東京都新宿区高田馬場3-18-25

電話番号：03-3360-2697

*1銀行で参加料を納めた際は、振込金受取書を必ず受け取ってください。(領収書になりますので、大切に保管してください。)

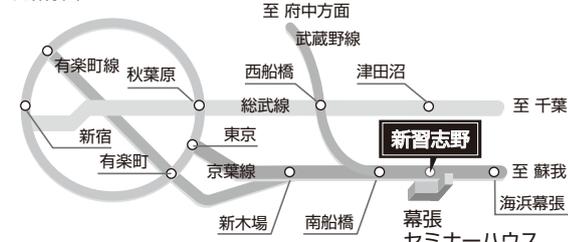
*2銀行振込の際には、振込手数料が必要となります。(参加される方のご負担になりますので、ご了承ください)

*3振込名義が申込者以外になるときは、事前にお知らせください。

*4銀行に振り込んだ参加料は、原則として返還できません。事前にお申込内容をよくご確認ください。

■アクセス

◎路線図



▶東京駅より、JR京葉線各駅停車にて35分

東京 35分 → 新習志野
450円

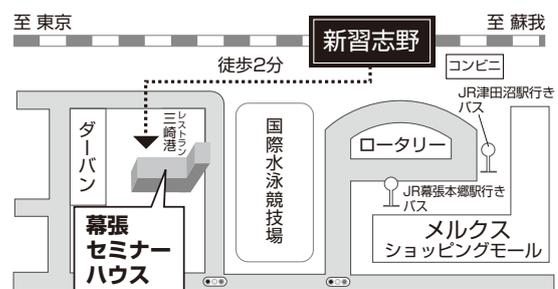
▶羽田空港より連絡バスにて約60分

羽田 60分 → 海浜幕張 3分 → 新習志野
1,120円 150円

※各時刻表については下記をご覧ください。

<http://www.kensyu.com/map/mappage.htm>

◎地図



幕張セミナーハウス

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-2

TEL：047-452-0670

FAX：047-452-0675

2/20 水 ~ 22 金

会場／東京ビッグサイト
時間／10:00～17:00

食品スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信するプロ向け専門展
第42回 2008スーパーマーケット・トレードショー

9万人の来場者を誇る日本最大のプロ向け食品業界展示会。外食、中食、小売、通販、加工食品…あらゆる業界のバイヤーが集まります。読者の会では野菜にスポットをあてた「More Vege+ (モア・ベジ)」ゾーンに出展します。



3/11 火 ~ 14 金

会場／幕張メッセ
時間／10:00～17:00

世界の食品・飲料業界関係者が集うアジア・環太平洋地域最大の展示会
FOODEX JAPAN 2008

スーパーマーケットとの取引開拓する専門展。付加価値のある商品や、独自性がある農産物が注目されています。商品力のある農産物で、市場のリクエストに応えましょう！



共同出展とは…？

皆様の顧客開拓を支援するため、食の商談会に共同出展します。読者の会がまとめてスペース（小間）をとり、そのスペース内で皆様に商品の展示・商談をしていただきます。

ふつうに出展すると出展料の約30万円に加えて、ブース装飾費・造作費などで約20万円かかり、合計約50万円必要です。



共同出展なら、4～6人でこの費用をシェアするため、出展料・造作費込みで10万円から出展できます。

あるいは

営業代行なら…出展費5万円から！

あなたの農産物を読者の会事務局がお預かりして営業を代行します。出展後、引き合いのあったバイヤーの名刺、問合せ内容をご報告します。

※営業代行費用は造作費も含まれます。

※商品原物のない方は資料のみでも参加できます。

こんな方にお勧め！

- ①自分の商品を直接バイヤーに売り込みたい！
- ②外食・中食、卸、小売の販路を広げたい！
- ③バイヤーの求める商品を生の声で聞きたい！
- ④他の生産者の売り込み方を見てみたい！
- ⑤展示会には出たいが手続きや準備が大変そう…

ひとつでも当てはまる方、奮ってご参加ください。お問合せは☎0120-555-184（担当／並木）まで！

※定員になり次第締切ります。お申込はお早めに！

申込は今すぐ!!

◎参加申込書・資料請求（FAX専用 0120-410-359）

■参加を希望する項目にして、必要事項をご記入下さい。

商談会への 共同出展 営業代行

共同出展費用：10万円【造作費（パネル、POP、配布資料）込・税別】
営業代行費用：5万円【造作費（POP、配布資料）込・税別】

申込	<input type="checkbox"/> 第42回 2008スーパーマーケット・トレードショー	<input type="checkbox"/> 資料請求
	<input type="checkbox"/> FOODEX JAPAN 2008	
<input type="checkbox"/> 全国大会 ※参加料：2日間通し—定期購読者50,000円（一般参加80,000円）／初日のみ—定期購読者30,000円（一般参加50,000円）		
申込	<input type="checkbox"/> 2/15（金）・16（土） <input type="checkbox"/> 2/15（金）のみ	<input type="checkbox"/> 資料請求
お名前	会社名 農場名	TEL
E-mail		FAX
ご住所 〒		参加人数
		名

お申込方法/FAX 0120-410-359まで送信してください。（農業経営者HP <http://www.farm-biz.co.jp/> からもお申込できます）
お問合せ/（株）農業技術通信社「農業経営者」読者の会 事務局TEL 0120-555-184